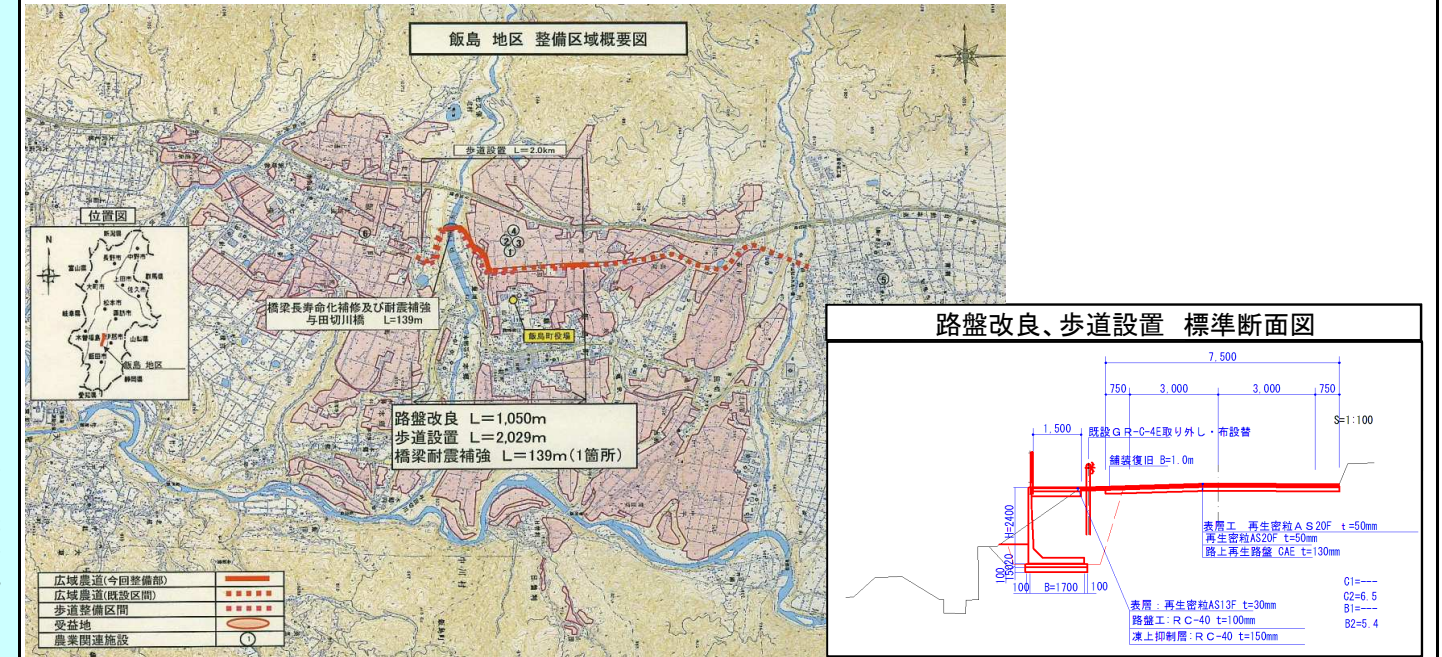


(様式2)新規評価シート

農政部 農地整備課

事業名	県営農道整備事業		路河川名等	伊那中部広域営農団地農道			
事業毎の通番	1	市町村名	飯島町	箇所名(ふりがな)	飯島(いじま)		
事業目的	<p>広域営農団地農道整備事業伊那中部地区(昭和51年から平成5年)で実施した本農道は、全線供用開始から20年が経過し、周辺環境変化にともない、日交通量11,400台の主要な路線となっており、飯島町地域防災計画により緊急輸送路に指定されている。本路線には橋梁が3橋あり、経年劣化により老朽化が進んでおり、長寿命化対策と耐震補強が必要となっている。また、本路線の近辺には小中学校があり、通学路として利用されているが、安全施設等が不備であり、交通量の増大により通行による危険性が高まっている。(とともに農業車両の通行にも支障を来している状況である。)また、交通量の増大にあわせて大型車両の流入も増加したため、路面の損傷が進行し、車両の通行に支障が生じている。このため、本事業により橋梁の長寿命化対策・耐震補強、歩道の新設、路面改良を実施し、農道としての機能の回復を図るとともに、通行する歩行者、自転車及び農業車両の安全の確保を図りたい。</p>						
しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業(自信と誇りを育てる信州農産物の生産) 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	土地改良法			
関連する事業、計画等	飯島町田園環境整備マスタープラン						
保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象 5328ha(水田3792ha、普通畑630ha、樹園地310ha、牧草地146ha、その他450ha) 受益対象 1034ha(水田844ha、普通畑98ha、樹園地92ha)						
着手年度	平成27年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	1.25	(千円)	国庫	その他	
全体事業内容(主な工種)	橋梁長寿命化対策・耐震補強 1橋 歩道整備 L=2,029m 有効幅員 B=1.5m 路盤改良 L=1,050m 幅B=7.5m			840,000	420,000	201,500	
27年度事業内容(主な工種)	橋梁補修・耐震設計N=1橋、歩道詳細設計L=2,029m、路盤改良設計L=1,050m、一般測量N=1式			40,000	20,000	10,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	営農に係る走行費用の節減 1億 一般車両の走行費節減 5億 生活環境改善効果 0.2億 維持管理節減効果 -0.15億 災害に強い道路					
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進					
評価の視点	必要性	・日交通量11,400台 ・計画自転車歩行者 120台・人/日 ・受益面積1034ha				評価	A
	重要性	・飯島町第5次総合計画基本施策、第7次長野県土地改良長期計画、長野県食と農業農村振興計画に整合 ・飯島町地域防災計画により緊急輸送路に指定 ・特定農山村指定				評価	A
	効率性	・費用対効果(B/C) 1.25 ・事業期間7年 ・橋梁部の歩道設置工法比較検討、路盤改良の経済比較検討、施工コスト縮減検討あり				評価	B
	緊急性	・人家点在 ・現況歩道なし ・時間短縮				評価	B
	計画熟度	・区会、耕地組合、自治会への説明 ・従前から地域要望あり ・地域合意あり ・草刈や側溝清掃など住民協働あり				評価	A
	部意見	建設後20~30年経過し、予想以上の交通量により路面・橋梁等の損傷が著しく必要性が高い。また歩道の無い道路であり、安全性に関し、地元意識も高く計画熟度が高い。	行政改革課意見	本路線の近くには小・中学校があり通学路として利用されているが、歩道が未整備であることから、必要性、重要性が認められる。	評価結果	総合評価	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【橋梁補修・補強】

橋梁補修「与田切川橋」



【路盤改良】



【歩道整備】



事業周辺環境

① 事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本計画路線は、広域営農団地農道整備事業伊那中部地区(S51~H5)で実施した幹線農道で、現在日交通量11,400台の主要な路線となっている。経年劣化に伴ない橋梁の老朽化が進んでおり、長寿命化対策が必要である。通学路の安全対策が不備であり、歩道の設置が求められている。また路面の損傷が著しく通行に支障があり、地域から改修の要望が上がっている。
② 地域からの要望経緯及び地域の関わり	本路線の近辺には小中学校が存在し通学路として利用されているが、安全施設等が不備であり、危険であることから以前より安全施設、歩道の設置が要望されてきていた。
③ 事業説明等の経緯	従前から歩道設置や路面改良について地域の要望があり、区会や自治会の関係者への説明を行ってきた。
④ 他事業・プロジェクトとの整合、関連	橋梁の長寿命化対策、耐震補強を行うことにより、飯島町地域防災計画で緊急輸送路に指定されている本路線の緊急時における輸送力が確保される。
⑤ 自然環境・生活環境への影響と配慮	工事の実施にあたり、重機等の建設機械には低騒音仕様、低排出ガス仕様の機械を使用する。また土工においては、現場発生土を再利用することにより、植生の保全に努める。
⑥ 地域活性化への影響と配慮	歩道が整備されることにより、飯島町の観光地である「千人塚公園」はじめ、「道の駅花の里」、「与田切公園および与田切溪谷」、「花桃街道」、また建設予定の「与田切地域拠点施設」などが有機的に結ばれ、観光ウォーキングなど新たな観光資源として活用でき、地域の活性化が図られる。路面改良により走行性が確保され、時間短縮の改善が図られる。
⑦ その他	既存路盤の再利用によるコスト減及び建設残土の減を計っている。歩道計画において橋梁部を3案比較し工法の検討を行っている。また、路盤改良部においても経済比較を行い計画している。

事業代表地点の緯度経度
北緯: N 35° 40' 10.9"
東経: E 137° 54' 34.1"